

図書館からのお知らせ

*伝承館とのコラボ企画

①「県宝おひろめ展」

10月8日(火)~27日(日)

昨年、長野県宝に指定された5つの縄文土器を図書館に展示します。

②「ドキ!どき♥土器しおりづくり」

縄文土器をつかって、しおりを作ります。自分だけのオリジナルしおりを楽しみましょう。

期日:10月20日(日) 9:30~

場所:トレーニングセンター

「めばえの部屋」

定員:20名

申し込み:山形村図書館 ☎98-3155

*臨時休館のお知らせ

10月13日(日)の村民運動会の日は休館となります。

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK NO.43

編集=山形村図書館

夏休み工作教室で 鉱石ラジオを作ったよ

今年の文化祭で大好評だった、久保田長利さんの『懐かしの音風景 鉱石ラジオ』展。今度は実際に作ってみようということで、夏休みの工作教室が実現しました。7月27日(土)、講師は再び久保田さんにお願いしました。はんだごてやラジオペンチを携えて、やる気満々の親子7組が参加しました。まず、丁寧にコイルを巻いてい



きます。重ならないようにきつちりと。みんな真剣です。次はいよいよ、はんだを使って端子を金属線につないでいきます。はんだ付けは初めてという人もいれば、子どものころ鉱石ラジオを作ったというおじいちゃんもいました。はじめはおっかなびっくりだった人も、だんだん素早くはんだ付けができるようになりました。すべての配線が出来上がり、いよいよイヤホンで自分のラジオを聞いてみます。「わー、聞こえる!」「音ちっちゃい、でも聞こえるよ!」

途中からSBCラジオのインタビュも入り、「ずっと作りたかったので感激です」「聞こえました。2時間頑張った甲斐がありました」など、はずんだ声が聞かれました。

最後に、自分のラジオに記名をして終了。「自分の作ったラジオで聞いたこと、絶対に忘れないはず」と笑顔の久保田さんでした。

やさいでべったん エコバックを作りました

長かった梅雨が明け、夏野菜がたくさん採れるようになった8月10日(土)、野菜でスタンプあそびをしました。

大人7人、子ども16人がトレーニングセンターに集まりました。『やさいでべったん』(よしだきみ

まろ)『やさいのおなか』(きょうち

かつ)の読み聞かせを楽しんだ後、さっそく野菜を切って、無地のエコバックにスタンプをしていきました。水に強いアクリル絵の具を使いました。

ピーマンやオクラの輪切りは花のように、インゲン豆の輪切りは雨粒のように、タマネギの輪切りを緑にぬってペタペタつなげたら、あおむしくんになっちゃった。ステキなマイバッグができました。



秋の図書館企画

「水彩画でブックカバーを作ろう」

繊維の入った丈夫な和紙に好きな絵や色を付けて、文庫本サイズのブックカバーを作ります。

日時:10月19日(土)

10時~11時30分

会場:トレーニングセンター

ふるさと大ホール

講師:若狭宣子さん(画家)

材料費:500円

大人対象・定員:15人

申し込み:山形村図書館

☎98-3155

おすすめ新着本紹介

『よるになると』

松岡 達英 (福音館書店)

花の蜜をもとめて虫たちが集まる昼の公園。

夜になると、別の虫たちが活動を始めます。生き物たちがくらす昼と夜の世界をのぞいてみましょう。



『北極と南極の「へえ〜」くらべてわかる地球のこと』

中山 由美 (学研プラス)

北極と南極をくらべると、似ているようで、違うところがいっぱい。両極の違いを知り、地球環境の過去とこれからを考えます。



『走る奴なんて馬鹿だと思つた』 松久 淳 (山と溪谷社)

運動とはまったく無縁だった作家が、45歳にしてマラソンにハマります。愉快なマラソンエッセイです。



『愛を歌え』 鈴掛 真 (青土社)

同性愛者を公表している歌人の初めての詩集。まっすぐにうたわれる愛の歌を、素直な気持ちで受けとめたくになります。

